

「考古学を体験してみよう！」 (土器の水洗い編)

日野市万蔵院台遺跡で長年にわたり採集された土器や石器がこのほど寄贈されました。みなさんと一緒に水洗いしてみました。小さなお子さんから小・中・高・大学生・大人までが参加して色々な発見がありました。その様子を紹介してみましよう。



*万蔵院台遺跡は日野市の東のはずれに位置し、約 5,000 年前の縄文時代中期の住居、6 世紀末から 7 世紀初頭にかけての古墳時代後期の古墳群と住居がかつて発掘調査されています。

お気に入りはこちら！

水洗いすると、いろんな模様が浮かび上がります。
僕の、私の、お気に入りを紹介してもらいました。



変わった土器だね。

横から見るとなんだか顔みたい。



上の方には穴が空いていて、

ヘビの頭のような飾りがついてるよ。

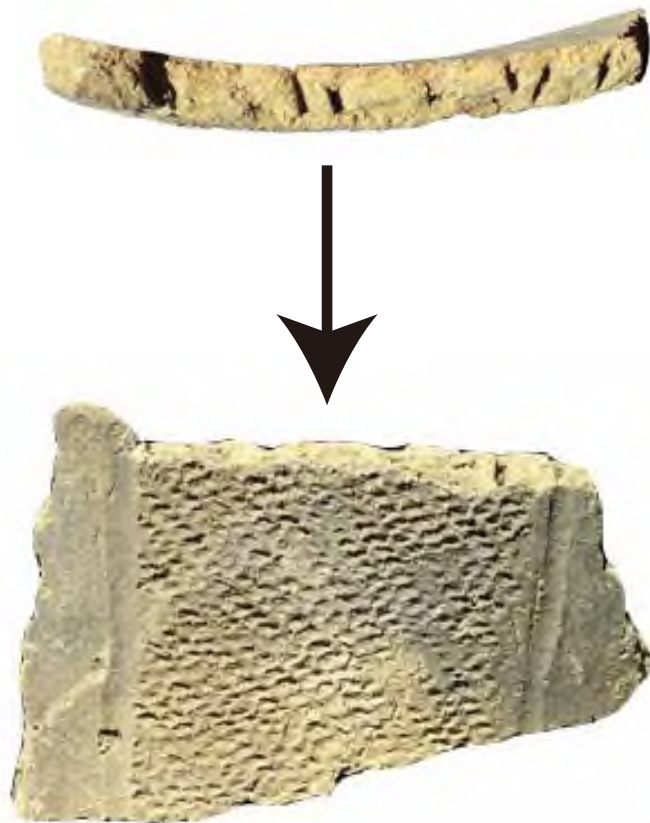
どうやって土器に模様をつけたのだろうか？



道具を工夫して、あれこれ試してみよう！

誰かがこんな土器をみつけたよ。

土器の断面に刻み目がつけられている。
なんだろうこれ？



正解は、土器をつくる時、上に積む粘土の帯がくっつき易いように刻みをつけて接着面を増やしているんだね。

これなあに？



外側



内側

答えは土器の一番下(底部)です。

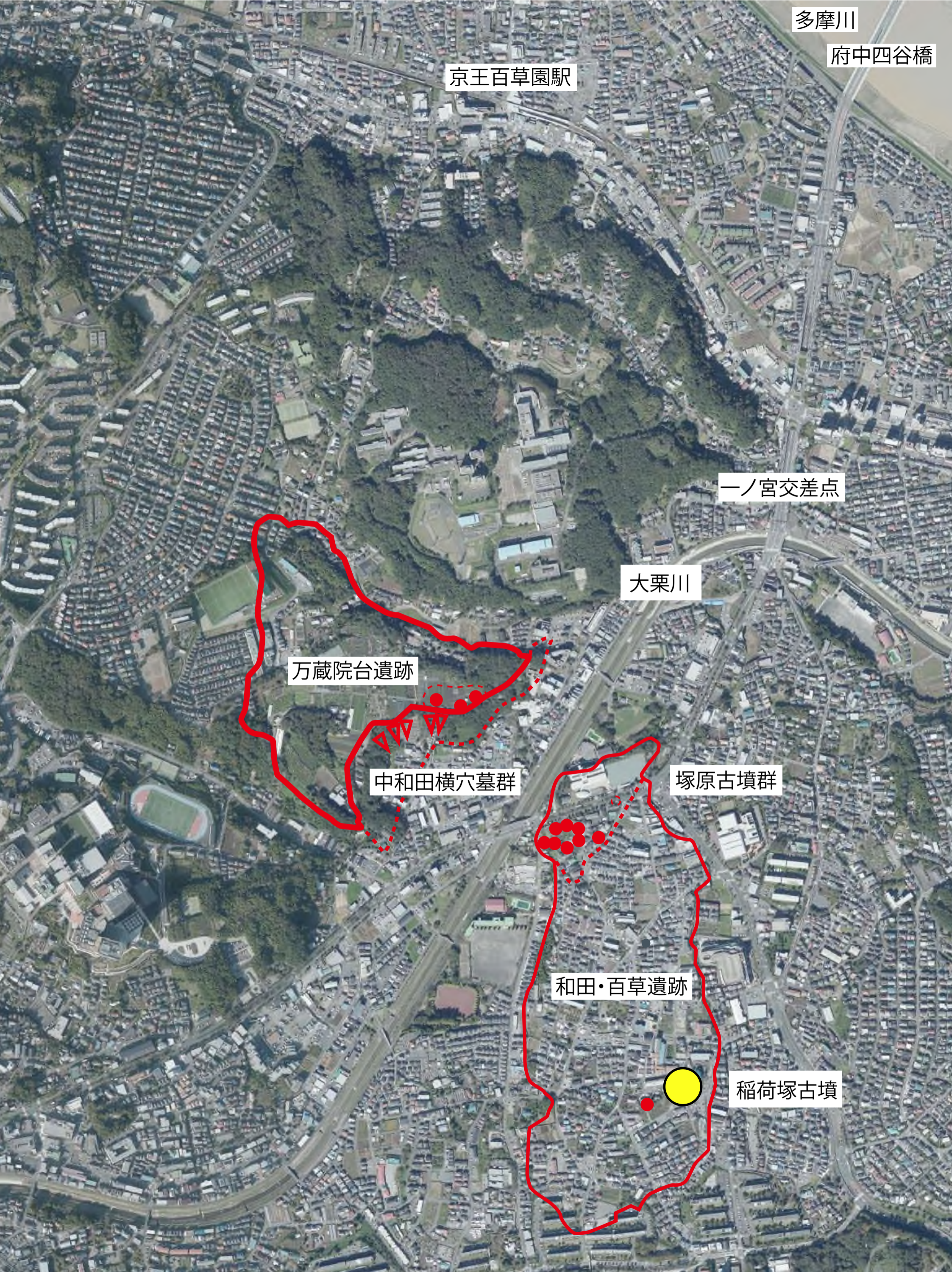
最初に円盤をつくり、その上に帯状の粘土を積み上げていきます。

わずかな時間差が剥がれやすさの原因？

こんな丸い土器片が見つかった！
これ、なあに？



自然に丸くなったのではなさそう。
大きさは3センチくらい。
断面が擦られて全体が丸くなってるよ。
親指と人差し指でつまむと、なんだか
とってもいい感じ。
何に使ったのだろうか？考えてみて。



万蔵院台遺跡位置図